

審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和5年度 第3回甲州市社会教育委員の会
開催日時	令和6年3月21日(木) 午後3時40分～4時15分
開催場所	甲州市中央公民館 2階 大会議室
議 題	(1) 「高校生の目を通して地域を考えよう」～高校生と大人の 本音の語り場～ について (2) 令和5年度社会教育委員の会活動報告及び令和5年度社会 教育事業の実施報告について (3) その他
出席委員	古屋美知子委員、宿澤齊委員、広瀬智恵子委員、窪田道忠委員 田邊康仁委員、雨宮眞司委員、中村澄可委員、山本睦委員、 坂本博彦委員、里吉武仁委員、丹澤千明委員、小林正治委員、 三枝照子委員、石田春雄委員
会議の公開又は 非公開の区分	公開
会議を一部公開 又は非公開とし た場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る 事項	※事務局の課・担当名、連絡先、出席人数等 甲州市教育委員会 生涯学習課 社会教育担当 連絡先：甲州市教育委員会 生涯学習課 社会教育担当 0553-32-5097 5人
そ の 他	

令和5年度 第3回甲州市社会教育委員の会 会議録

日時：令和6年3月21日 木曜日

午後3時40分～

場所：甲州市中央公民館

2階 大会議室

出席者 14名

欠席者 2名

事務局 3名

傍聴者 なし

1 はじめのことば

2 議長あいさつ

3 議事

(1) 「高校生の目を通して地域を考えよう」

～高校生と大人の本音の語り場～について

(2) 令和5年度社会教育委員の会活動報告及び令和5年度社会教育事業の実施報告について

(3) その他

事務局： 本日は年度末の大変お忙しい中ご出席をくださいますようお願いいたします。

まず開会に先立ちまして、飯島委員、渡辺委員から、欠席をする旨の連絡をいただいておりますので、ご報告をさせていただきます。

それではただいまから、令和5年度第3回甲州市社会教育委員の会を開催させていただきます。

初めに相互に挨拶を交わしたいと思います。

皆様ご起立をお願いします。相互に礼。よろしく申し上げます。ご着席ください。

それでは山本議長からご挨拶をいただきます。

議長：皆様、こんにちは。

短い時間ですけれども、よろしくご協力をお願いいたします。

先ほど教育長様は公務のためご退席されましたが、毎回、教育長様にこの会議に参加していただいていることに感謝しております。

それから事務局、委員の皆様におかれましては、この1年間いろんな行事がありました。いつもたくさんの人数で参加していただき、事務局の方も本当に、きめ細かい配慮していただき、本日も課長様にもご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。

今日の議題は3点ほどあります。議題の中で皆さんにご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

短い時間ではありますが、たくさんの良い意見が出ることをよろしくをお願いいたします。

今年度最後の会議となりますので、ご協力をよろしくをお願いいたします。

事務局：山本議長ありがとうございました。

それでは議事に入ります。議事の進行は山本議長にお願いします。

よろしくをお願いいたします。

議長：スムーズな議事の進行ができますよう、どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、(1)「高校生を目を通して地域を考えよう～高校生と大人の本音の語り場～」について事務局から説明をよろしくをお願いいたします。

事務局：事務局より説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

令和5年12月4日に開催いたしました高校生との語り場につきましては、多くの委員の皆様にご参加いただき、開催することができました。ありがとうございました。

本日資料1の1ページから5ページをご覧ください。

語り場に参加いただきました委員の皆様を対象にアンケートをお願いいたしました。お忙しい中ご協力いただきましてありがとうございました。

委員の皆様にいただきました意見、感想をまとめさせていただきましたので、ご報告させていただきます。

本日の資料として、今年度の語らい場の報告書を作成いたしました。こちらの報告書には、参加していただいた生徒の皆さんの感想なども記載させていただいております。こちらもぜひご覧いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

初めに、「語らい場の経験を通して社会教育委員として感じたこと、考えたことは何ですか。」とお伺いいたしました。

「高校生世代の考えを聞くことにより、普段接することのない生の声を身近に感じ、若いこれから社会に出る人たちのことを知れたと思います。」

「社会教育委員に求められる資質として、コミュニケーション能力、情報発信能力を伸ばすため、積極的に様々な活動や研修に取り組むことは大切だと改めて感じた。」

「今回は日頃交流できない高校生という年齢層だったため、意見の伝え方や求め方など関わり方を学ぶことが出来た。」などの感想をいただきました。

また、「今までの語らいの場の経験を通して、社会教育委員として実際に実践したことはありますか。」とお伺いしました。

「SDGsの17の目標を意識して生活するようになった。」

高校生と交流したことで、高校生に今までより気軽に挨拶など、声かけができるようになった。」などの感想をいただきました。

また次に、「今後この体験をどのように活かせると考えますか。」の問いには、

「多くの方々に、甲州市で行っている語らいの場の成果を伝えたい。」

「現代の高校生の考えや行動など知ることで、他の高校生と気軽に接し、交流することに生かせると思う。」などの感想をいただきました。

次に「語らい場を経験した高校生に期待することはどんなことですか。」の問いには

「参加された大人の方との繋がりができてよかったと思います。」

「委員との話の内容が、将来の役に立てばいいと思います。」

「色々な人たち、多くの人たちと触れ合い、話し合い、人間としての幅を広げて、自信を持って大人となってほしい。」という感想をいただきました。

次に、「甲州市社会教育委員の会として、今後どのような目標を持って語らい場を行うことが必要だと考えていますか。」の問いには、

「社会教育委員に求められる資質・能力向上のための研修の場として捉え、積極的に参加し、充実したものとなるよう取り組むことが必要。」

「社会に出ても、いろいろな人たちが傍にいて協力してくれ見守っていてくれるということを知ってもらいたい。」などが感想としてありました。

最後に、「高校生と語り合ってみたい内容が具体的にありますか。」の問いには、

「今回のSDGsの話題は高校生にも身近なことであったようで、積極的に話していたように思いました。身近に感じる話題が良いと思います。」

「このテーマは1年目ですので、しばらく継続していいのかな。高校生の方も毎年変わるので、同じテーマを何年か続けてもいいのかな。」という意見がありました。

それぞれ、たくさんの意見をいただいております。

今年度は語らいの場の最後に、委員さんと高校生が自由に話しができる「フリートーク」という時間を設けました。「この時間が一番良かった」、「一番話ができた」という感想を数多くいただきました。高校生の方も委員さんとの貴重で大切な時間を過ごせたと感じていたと思います。

このような機会を設けたいと思いました。

その他の意見としまして、「開催方法や課題の時間を増やす」、「時間配分の工夫が必要である」など、様々な意見をいただいております。

この語らい場は高校生と語り合える貴重な、本当に良い機会だと思っておりますので、今後、開催内容や時間配分等も相談させていただきながら継続していきたいと考えております。

明日ですが、塩山高校の学校長様に山本議長と事務局で、年度末ということでご挨拶に伺う予定でおります。

そして年度が変わりまして4月になりましたら、塩山高校の学校長様に来年度も継続して開催できるようお願いのご挨拶に伺いたいと思っております。

今回委員の皆様からいただきました貴重なご意見につきましては、またその都度、高校の方にお伝えをし、来年度の開催方法、テーマなどに反映し、より充実した語らい場が開催できるよう、塩山高校と検討・協議を進めていきたいと考えております。

以上になります。

議長： ありがとうございます。

委員の皆様から、本当にたくさんのご意見ご感想をいただきました。

本当にありがとうございました。

今回いただいたご意見以外に、何かご質問ありましたら、お願いいたします。

いかがでしょうか。何かありますか。

ご質問等ないようですので、よろしいですか。

語らい場の開催方法、テーマにつきましては、委員の皆さんからいただいた貴重なご意見を明日、高校の方にお伝えして、次回の語らい場をどのようにするかということをお礼方々お聞きしていきたいと思ひます。

語らい場についていろいろな意見もあったのですが、委員の皆さんや教育委員会のお考えなども踏まえまして、また色々テーマを決めたりしていきたいと思ひます。ご意見ありがとうございました。

その他、何か気がついたことがございましたら。

委員： 私は、残念ながら個人的な用事で今回は参加なかったのですが、毎回毎回、語らい場をして、年々、自然体で高校生も委員の方々と話ができてつあるなど感ひしています。これはやはり、塩山高校の担当している先生方のご努力もあると思ひますし、今後より充実した話し合ひができていくと良いのではないかと思ひます。

最後の方にありましたテーマも、毎年毎年高校生が変わっていくわけですから、ある程度今回のSDG s を続けていくのが非常に良い考え方じゃないかなと思ひました。

議長： ありがとうございます。他いかがですか。

委員： 私も今回は参加できなかったのですが、今まで参加したことからの感ひは、高校生は凄く自分の意見をきちっと話せるんだなっていうことを感ひしました。私達が高校生の頃は、なんだか何も言えないで終わっていたような気がして、自分の意見をこんなにしっかり持って、話すことができるのだから。凄く時代の違ひを感ひして、今回のジェンダーについては、本当に私達なんかはそんなことを考えることが少なかったから、若い人の意見を聞いてみたいなど思ひていたのですが、参加できなくて本当に申し訳ないです。

議長： このように事務局の方で、良い資料作っていただいたことを本当に感謝したいと思ひています。

この資料自体が、これからのジェンダーに対する考え方みたいなことを、公にも示されるぐらい、非常に素晴らしい内容で、子供たちが考えた内容を、皆、こう一斉に書いて自由にできたっていうのは、私も今年度はとても充実していたなと感ひしております。

それから、発表活動ということ、凄く子供たちには盛んにやっております。

語らい場の後、私達も事務局と何人かで高校生の発表を聞きに行きました。発表者の1人が、語らい場の時に私達と一緒にグループだった方の中の1人でした。

文部科学省の方が来たときの発表だったのですが、堂々と発表されてました。

その発表の後お聞きしたら、「この事業があったことで、私はあの舞台上で堂々と皆さんに自信持って喋ることができました。」という報告を受けました。

子供たちには、すごくいいステップになったということをつくづく感じました。

他に、いかがですか。

委員： 私達の班の高校生も、凄い伸び伸びとしていました。

「家庭ではどうなの？何か両親に、男とか女について言われるの？」と聞いたら、「言われたい。」と言って、もうそういう時代になったのだから、粛々と思いました。この子たちが、そのまま色々ことを考えて素直に、今は色々な方がいないといけないのですよね、そのままいってほしいな、良い世の中にしていこうこの子たちが、しっかりしているから大丈夫だな。なんてことをちょっと考えました。とても良い会だったと思います。

議長： 数人に、お聞きしました。

本当に何年もやっていますけども、この活動が私達の勉強プラス、子供たちの成長の場ということをつくづく感じた今年度の語らい場だったと思います。

他に無いようですので、次に進めさせていただきます。

次の議題、（２）「令和5年度社会教育委員の会活動報告および令和5年度社会教育事業の実施報告」について議題といたします。

事務局から説明をよろしくお願ひいたします。

事務局： 「令和5年度社会教育委員の会活動報告および令和5年度社会教育事業の実施報告」について説明をさせていただきます。

初めに「社会教育委員の会 関連事業報告」について説明をさせていただきます。

6ページから7ページ、資料2と右上に書いてある資料をご覧ください。

委員の皆様には大変お忙しい中、ご参加ご協力をいただきまして本当にありがとうございました。

その中で議長におかれましては、山梨県の社会教育委員連絡協議会の副会長となっておりまして、県の執行部理事会等に出席をいただきました。

また委員の皆様には、年3回の定例会を初め、研修会への参加や、先ほどから出ています塩山高校との語らいの場の方にご協力をいただき、開催することができました。

高校生との語らいの場の事前勉強会などの様々な活動におきまして、多くの委員の皆様にご参加いただきまして感謝を申し上げます。

次に8ページから13ページの資料3をご覧ください。

生涯学習課社会教育事業にまとめさせていただきました。

社会教育事業につきましても出席されている委員の皆様には大変お忙しい中ご協力をいただきました。ありがとうございます。

甲州市アドベンチャークラブの年間を通しての活動や、勝沼大和少年ジャンボリーの開催、青少年育成甲州市民会議主催の講演会など青少年の健全育成事業、また、宇宙の学校の開催や、市民教養講座の開催など生涯学習の推進を行いました。

社会教育事業につきましても、新事業を実施する等、年度当初に予定しておりました事業を行うことができました。これもまた委員の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

事業を行う中で、学びを続けていくことが大切であると感じたところであります。

本当に委員の皆様にはこの1年間ありがとうございました。

また来年度につきましても、委員の皆様の運営のご協力をよろしくお願いいたします。

以上です。

議長： はい、説明終わりました。ご意見、ご質問ご感想などありますか。

何か事業に参加されて、こんなことがある。こうしたら良いのでは。良かった点などありましたら、よろしく願いいたします。

皆さんも、これだけの沢山の事業をしていただいたことを、本当に事務局お疲れ様でした。ありがとうございます。

ご意見も出ないようですので、次の議題（3）その他に進んでよろしいでしょうか。

第54回関東甲信越静社会教育研究大会 栃木大会に参加させていただきました。報告をしていただきます。よろしくお願いします。

委員： 簡単に報告したいと思います。

皆さん先輩方と一緒に、栃木研究大会へ行って参りました。今回は5人です。

まず記念講演がありました。

私としては、非常に楽しい話をしていただき良いな、と感じました。その話をちょっとお伝えしたいと思います。

作新学院高校の野球部の監督の小針先生という方のお話がありました。

春3回夏12回に及ぶ計15回の甲子園出場をしていて、甲子園において21勝を挙げているという方です。

結構名前を聞くことのある、今委員の方からも声が出ていますけど、結構有名な方だなと、高校の名前は知っていましたから、小針先生というのはちょっと読めませんでしたけど、その方の話を聞くことができました。

21勝している中でも、14敗しているそうです。やっぱり勝ちもあったり負けもあったりっていうところに、野球って魅力があるのかなと感じました。

小針先生の考えていることとしては、「人間力で野球をしていくんだよ。全員で野球していくんだよ。」ということを考えているようです。チーム全員で野球をやっている中で、1人だけ良くても悪くても、やっぱりチームとして勝ってはいけないということでした。活動をしていく中で、父兄の人たち、地域の人たちとの繋がりができていて、非常に良い繋がりで盛り上がっている。勝ちの喜び、負けた時の苦しみを感しながら皆さんと一緒に活動をしている。とのことでした。

学校の中での話もしていただきましてね小針先生は硬式野球の先生なんですね。

でも学校の中では、軟式野球もやっていて最初はギクシャクしていたそうですが、活動の中で人間同士の繋がりがいいところを大切にすることで、軟式野球部とともに切磋琢磨しながら強いチームになっていったというお話もしていただきました。

やっぱり私共の活動なんかもそうですけど、チームの中、あるいは地域の中でも人間同士の繋がりってというのはやっぱり強い力をうむんだなと感じました。

ちょっと飛ばしまして、私共、山梨チームは第4分科会っていうところに参加しました。教室みたいな所の中で、私どもが席を占める感じで、議題について話をしました。

そこでのテーマは、「図書館の無い市に図書館ができた」というものでした。

千葉県の富津市の事例ですけど、いろいろな名勝を回ったり、見るところがあったりするんですけど、なかなか図書館として活発に来てもらえる所がなかった、ということでした。そこで、色々な活動を展開する中で、イオンモールに図書館を移して開設したら、非常に人が多く集まって、味のある活動ができましたよっていう発表がありました。

私も、「公共施設が、特に図書館をそういう施設に開設したらいいかな」なんて、最初はそんなイメージがありましたけども、やっぱり人が集まる所に開設することで、更に画期的に利用者も増え、非常に良い地域の人たちとの交流の場になったということで、非常に良かったなと思いました。

未来に繋がる人作りまち作りは、色々な所、身近な所で、施設を利用して公民館活動をしていくのがいいかなと思いました。

その後そのグループに分かれての検討会をして、意見をまとめる時間がありました。私共は8人のチームになりまして、社会教育委員の役割などを話しました。山梨での取り組みとしては、先程も話が出ていた高校生と語る会について紹介したのですが、一緒のチームだった方が、前年の甲州市の話を参考にし、ちょうど自分たちの市でも活動を始めたところですよ、という話があって、チームの中で盛り上がりました。

司会から指名がありまして、甲州市にチームの話し合いの内容を発表していただきました。

山梨の事例が参考になって、自分の市でもその活動を試みようという所に繋がり、色々な活動が進んでいく。色々なことが細かく繋がっていくことを感じました。

社会教育委員はどんな活動をしていくべきなのかな、という話ですけども、やはり人との繋がりを作っていく活動が大切なのだと感じました。

議長： ありがとうございます。本当にポイントポイントで、私達も聞きそびれたこともここで発表していただいて。

シンポジウムの中で触れていたのですが、「ウェルビーイング」って皆さんご存知ですか。

またカタカナの言葉で、ようやくSDGsが理解でき始めたら、またこのウェルビーイングですね。この言葉、実は県の理事会の中でも出てきまして、コロナ明けで、とても大事なことだそうです。皆さんは、まだその内容はわかっていられないかと思うんですが、シンポジウムの中でありましたので自分で調べたのですが、要するに「幸福度」ということなんだそうです。

体が丈夫、物がある、お金があるととっても、本人の幸福度は個人ではなくて、全体の幸福度っていうのは、これからこの言葉は随所に出てくるかと思えますので、皆さんも勉強していただいて、これがきっかけで何かまたね、良いテーマになることもあるかなと思う時代になってまいりましたので、ぜひ頭に入れておいていただきたいと思えます。

以上です。

事務局の方から何かありますでしょうか？

事務局：事務局からお知らせをさせていただきます。

来年度は10月24日、25日、茨城の水戸市内で開催される予定でございます。大変忙しい時期でもあると思えますが、ぜひ多くの委員の皆様にご参加をいただきたいと思えます。

また詳細につきましては、決定次第、お知らせをさせていただきます。よろしくお願ひします。

議長：説明が終わりました。

以上で議事を終わりたいと思えます。

スムーズな議事の進行にご協力をいただき、本当にありがとうございました。急に指名させていただきましたが、本当に良い意見をいただけたと思えます。お忙しい中でこうやって少しの時間でも、参加していただいたことを本当に感謝しております。本当にありがとうございました。

来年度も引き続きご協力をよろしくお願ひいたします。

事務局：山本議長、議事の進行ありがとうございました。

以上で、第3回甲州市社会教育委員の会を閉会とさせていただきます。

なお、本年度は2年1期の最後の年にあたりました。

令和6年度は社会教育委員の改選となります。

本日が最後となる委員さんもおられますが、1年間ご協力いただきまして誠にありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。

以上で第3回甲州市社会教育委員会を閉会とさせていただきます。

大変お疲れさまでした。

5. おわりの言葉